

## 令和4年度 第2回 支会理事長会

宮崎県教育研究連合会

## &lt;会次第&gt;

- 1 県会長あいさつ
- 2 令和4年度前半の事業について（報告）
- 3 今後の事業について（連絡）
  - (1) 第2回教師力向上セミナー 10/29（土） 13:30～15:15
  - (2) 第4回スクールマネジメント研修 11/11(金)・12(土)・13(日)  
「教員のメンタルヘルスと働き方改革」 講師：保坂 亨 氏（千葉大学）  
（動画配信で実施）  
（C4thで、各支会から、各学校の連絡員へ広報をお願いしたい。）
  - (3) 九州ブロック会議 12/10（土）～12/11（日）
  - (4) 10・11月の Empower Meeting  
10月15日 プログラミング言語を使わないプログラミング  
11月5日 文化の秋スペシャル「私の一冊」  
11月19日 （依頼中）
- 4 協議 今後の組織対策の在り方について
  - (1) 各支会の取組
  - (2) 県本部の取組
  - (3) 協議
- 5 その他の連絡
  - (1) 教文研 教育シンポジウム兵庫 11/20(日)AM 動員9に対し8名の参加  
参加者 会長、坂元、谷口、榑木  
（敬称略） 前田（都北支会長）、緒方（西都児湯理事長）、長友（日向支会研究員）、大澤（日向副理事長）
  - (2) 第40回教育研究全国大会宮崎大会
    - ・第3回準備委員会 ★期日変更 12/3(土)AM → 12/11(日)PM  
全日教連委員長、次長の来県に伴い、期日を変更します。
    - ・教育研究全国大会宮崎大会会場下見 12/10(土)AM
  - (3) 中央情勢報告

月	宮崎県教育研究連合会	参加	全日教連関連行事	参加
4	EPM①(W)	2日 (10)	全日教連二役会・本部役員会(AM) (W)	9日 (1)
	EPM②(W)	16日 (7)	第225回執行委員会・局会議 (W)	16日 (2)
	第1回教師力向上セミナー(H) (AM)	23日 (12)	令和3年度監査(PM) (書面)	23日 (1)
	第1回提案検討会(本部のみ)、第1回理事会(PM)	23日 (8)		
5	EPM③(W)	7日 (6)	第1回教育問題審議委員会(PM) (W)	12日 (1)
	EPM④(Open) (W)	21日 (15)	第1回専門部会 (W)	15日 (4)
	教員採用模試(AM) (来場/在宅受験)	21日 (6)	専門部要請行動 (W)	16日 (1)
	第1回研究会・第2回提案検討会(H) (PM)、第2回理事会	21日 (10)	第87回評議員会 (W)	22日 (1)
	第1回支会長・支会理事長会 (W) (AM)	28日 (22)		
第54回代表委員会 (W) (PM)	28日 (38)	積立年金制度申込締切		
6	EPM⑤(W)	4日 (6)	第226回執行委員会(PM) (W)	11日 (2)
	EPM⑥(W)	18日 (5)	◇第39回定期大会(東京) (AM) (W)	12日 (7)
	第1回スクールマネジメント研修(H) (AM)	25日 (60)	第1回選挙管理委員会(PM) (W)	12日 (1)
	第1回教研大会準備委員会(本部のみ) (PM)	25日 (8)	第5回教問審研究部会 (W)	18~19日 (1)
			日華教育交流(香川) (W)	26~27日 (12)
			訴訟費用・収入保障制度申込締切	
7	EPM⑦(W)	2日 (4)		
	EPM⑧(Open) (W)	16日 (27)		
	第3回理事会(H) (AM)	23日 (8)	二役会・本部役員会、第227回執行委員会 (W)	29日 (2)
	第2回スクールマネジメント研修(PM) (H)	23日 (25)	◇第39回教育研究全国大会栃木大会 (W)	30~31日 (14)
8	EPM(W)、教員採用二次試験勉強会	6日 中止		
	EPM⑨(W)	20日 (4)		
	第7回宮教研連のつどい(H) (PM)、第4回理事会	27日 (46)	◇単位団体長・次期リーダー研修会(東京)	18~19日 延期
9	EPM⑩(W)	3日 (8)	第2回教育問題審議委員会(PM) (W)	8日 (1)
	EPM⑪(Open) (W)	17日 (17)	給与法制局会議 (W)	10日 (1)
			第6回教問審研究部会	25日 (1)
			第6次中央要請行動・教育懇談会(PM)	28日 (1)
10	EPM(W)	1日 中止	教研大会引継会(PM)	9日 (2)
	第3回スクールマネジメント研修(H) (PM)	5日 (8)		
	EPM⑫(W)	15日	第2回専門部会	10日 (3)
	第2回支会理事長会 (W) (PM)	15日	第7次中央要請行動	11日 (1)
	第2回教師力向上セミナー(小林) (H) (PM)	29日		
11	EPM⑬(W)	5日	役員選考委員会(AM) (W)	5日
	第4回スクールマネジメント研修(W)	11~13日	第228回執行委員会・局会議	5~6日
	第5回理事会(PM)	12日	◇教育シンポジウム(兵庫県神戸市)	20日
	EPM⑭(Open) (W)	19日	役員選挙告示	24日
			積立年金制度申込締切	
12	EPM⑮(W)	3日	第3回教育問題審議委員会(AM) (W)	8日
	九州ブロック会議	10~11日	◇九州ブロック会議(宮崎市)	10~11日
	第3回教研大会準備委員会(W) (PM)	11日		
	EPM⑯(W)	17日	立候補者公示	23日
			訴訟費用・収入保障制度申込締切	
1	EPM⑰(W)	7日	◇中華民国訪問研修	3~7日
	第3回教師力向上セミナー(H) (PM)、第6回理事会	14日	第229回執行委員会	28日
	EPM⑱(Open) (W)	21日	第88回評議員会(AM)	29日
			第2回選挙管理委員会(PM)	29日
2	EPM⑲(W)	4日		
	EPM⑳(W)	18日		
	第2回支会長会・第3回支会理事長会 (W) (AM)	18日	給与法制局会議	4~5日
第2回研究会 (H) (PM)	18日	第1回教問審研究部会	25~26日	
3	EPM㉑(W)	4日		
	第4回教研大会準備委員会(W) (PM)	4日		
	令和4年度会計監査(PM)	16日		
	EPM㉒(Open) (W)	18日		
三役会	22日			

※ 感染症等の状況により、期日・開催方法等が変更になる場合もある。

W:Web H:Webと対面のハイブリッド開催 無印:対面

EPM:EmpowerMeeting

◇動員がある全日教連研修会等

## 令和4年度 第2回 教師力向上セミナー 運営要項(案)

### 1 目的

- 県下の教職員(講師・教師を目指す大学生を含む)を対象とし、本県教育を支えるための教師力向上(主に教科指導力等)を高める研修を通して、本県教育の課題解決に寄与できる判断力、行動力をもった教師を育成する。
- 新規採用や若手教職員、非会員にも積極的に参加を促し、教職員の情報交換や交流を促進し、縦・横のつながりを深め、本県教育がより発展するための研修の場とする。
- 宮崎市内だけではなく、県北地区・県西地区等で開催し、支会の活動支援に資する

2 主催 宮崎県教育研究連合会・宮崎県教育研究連合会西諸支会

3 協賛 日本教育文化研究所

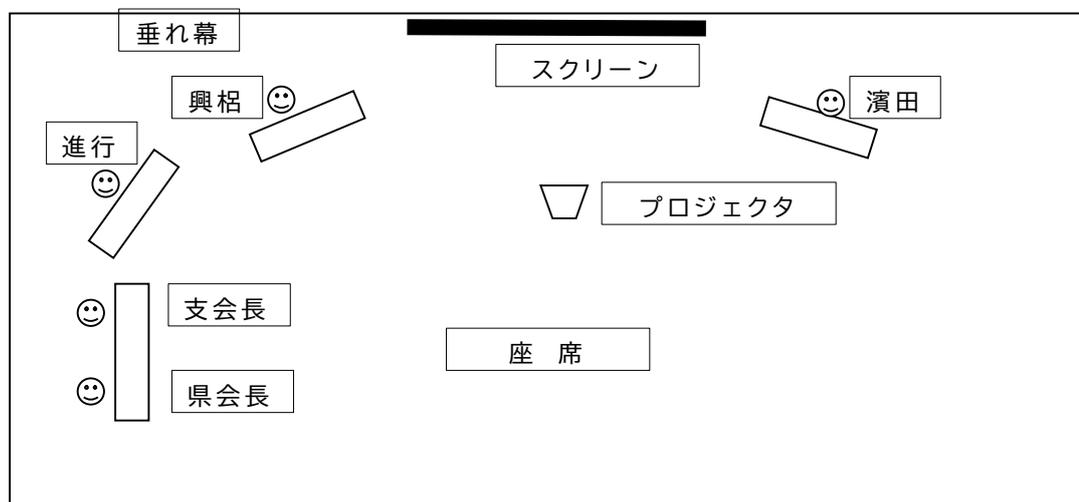
4 期日 令和10月29日(土)

5 テーマ ICTを効果的に活用した個別最適な学びと教育DX

6 講師 宮崎大学教育学部 教育協働開発センター 小林 博典 准教授  
日向市立寺迫小学校 濱田 公一郎 教頭

7 日程 12:30~13:00 会場準備・接続テスト(設営は西諸支会へ依頼)  
13:00~13:30 受付(西諸支会)  
13:30~13:35 開会行事 西諸支会長あいさつ  
13:35~15:15 対談(4部構成)  
15:15~ 閉会行事・諸連絡  
15:30~ 片付け・撤収

### 8 会場図



### 9 準備物

西諸支会 スクリーン、プロジェクタ、レジュメ

県本部 PC2(3)、プロジェクタ(予備)、ポケットwifi、LAN関係機器、  
テーマ・講師垂れ幕、講師資料

### 10 その他

- \* 非会員にも広く周知し、会員獲得にもつなげたい。
- \* 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえて、Zoomなどを活用したオンライン研修会として開催する。
- \* 会場での研修会を録画し、編集して、後日、オンデマンド配信する。



主催 宮崎県教育研究連合会  
共催 宮崎県教育研究連合会西諸支会

## 教師力向上セミナー

テーマ ICTを効果的に活用した  
個別最適な学びと教育DX



濱田 公一郎 教頭 ・ 小林 博典 准教授

GIGAスクールにより、学校のICT環境は、急速に整いつつあります。しかし、肝心の学校現場・教室からは、先生たちの悩みの声が聞こえます。

今回のセミナーでは、宮崎大学教育学部の小林博典准教授と寺迫小学校の濱田公一郎教頭のトークセッションで、この問題に切り込んでいきます。

Speaker 宮崎大学教育学部 教育協働開発センター 小林 博典 准教授  
日向市立寺迫小学校 濱田 公一郎 教頭

Moderator 日向市立塩見小学校 興梠 大輔 教諭（宮教研連副理事長）

2022/10/29 sat 13:30~15:15

会場：高原町総合保健福祉センターほほえみ館／オンライン

定員：会場40名、オンライン100名

※オンラインご希望の方は、後日、ZoomのID等をメールでお知らせします。

お申し込みはWebで→





宮崎県教育研究連合会主催

# 第4回 スクール マネジメント 研修

テーマ

教員のメンタルヘルスと  
働き方改革

WorkとLifeのBalance

「仕事」

「生活」

「調和」

講師

保坂 亨氏 (千葉大学)

期間限定特別動画配信

配信期間

11月11日(金) ~ 11月13日(日)

★これはR4年9月8日に、  
日本教育文化研究所・教育問題審議委員会にて録画されたものです。

お申込み/お問い合わせ 宮教研連事務局

URL <https://miyakyoukenren.sakura.ne.jp/>

TEL 0985-27-4508  
070-5416-0833

申込QRコード→

★お申し込みいただいた方に、  
動画のURLとパスワードをお知らせします。



# 令和4年度 九州ブロック会議 実施計画

令和4年10月7日

- 1 主催等 主催:全日本教職員連盟  
主管:宮崎県教育研究連合会
- 2 目的
  - (1) 全日教連加盟の団体が地域毎に集い、情報収集を通して地域の実態を踏まえた諸活動の意見交換を行い、組織の強化・拡大を図る。
  - (2) 原則として、全日教連行事に参加したことがない会員を参加対象とし、全日教連諸活動や組織の存在意義に対する理解を深める。
  - (3) 全日教連役員と各单位団体相互の交流・連携を密にする。
- 3 日時 令和4年12月10日(土)13:00から 11日(日)12:00まで
- 4 会場 10日(土) ホテルメリージュ  
宮崎県宮崎市橘通東3丁目1-11 TEL:0985-26-6666  
11日(日) 宮崎県教育研修センター  
宮崎県宮崎市阿波岐原町前浜4276-729 TEL:0985-24-3122
- 5 参加者 25名(主管団体10名、他団体15名) ※11日の記念講演には、宮教研連一般会員の参加を行う予定。
- 6 日程 【12月10日(土)】  
13:00～ 受付  
13:30～13:45 オープニング 女性コーラスグループ「Sound Scape」  
13:55～14:15 開会行事(国歌斉唱・全日教連の歌斉唱・全日教連代表挨拶・主管団体代表挨拶)  
14:15～14:45 研修Ⅰ 「中央情勢報告・全日教連組織理解等」  
14:55～15:40 研修Ⅱ 研究発表・協議(研究発表20分・協議25分)  
「自分のよさや可能性に気づき、自尊感情を高める指導の在り方」  
～言葉と音楽による環境改善を通して～  
宮崎市立大塚小学校 教諭 福島 龍太郎  
15:40～16:20 研修Ⅲ 話題提供(40分)  
① 宮教研連のDX推進  
② ニューノーマル時代の新たな研修の形  
16:20～16:50 会議「各県からの報告」(各県の状況・情勢報告)  
16:50～17:00 諸連絡  
18:00～20:00 情報交換会  
【12月11日(日)】  
9:30～ 9:40 諸連絡  
9:40～11:15 研修Ⅳ 記念講演「日向神話にみる日本人の心」(90分)  
講師:大館 真晴 氏(宮崎看護大学・教授)  
11:20～11:35 質疑  
11:40～12:00 閉会行事(全日教連代表挨拶・主管団体代表挨拶)
- 7 経費等
  - ・全日教連からの補助費、主管団体の経費、参加者からの参加費徴収等による。
  - ・全日教連加盟団体からは、参加費、宿泊費、情報交換会費は徴収しない予定です。  
ただし、申し訳ありませんが、会場までの旅費は御負担を御願いたします。
  - ・オブザーバー参加の経費
    - ・ブロック会議参加費 5,000円
    - ・情報交換会費 5,000円 合計 10,000円

# 第40回 教育研究全国大会（宮崎大会）実施要項（案）

【主催】全日本教職員連盟

【主管】宮崎県教育研究連合会

【共催】日本教育文化研究所

## 1 大会理念

美しい日本人の心を育てる

## 2 大会主題

# 新しい価値を創造する力を育む教育実践

～ 自らの考えを広げ深める子供の育成を通して ～

## 3 研究の基調

現在私たちの生活する社会においては、AI やロボティクス等が飛躍的に発展しています。そして、来る Society5.0 社会においては、更に高度化した AI 技術が、これまで人間が担っていた定型的業務等を奪っていくと想定されています。

このような未来を生きる子供たちには、変化に適応するだけに留まらず、自立して主体的に社会に関わり、人間だからこそその感性や創造性を発揮し、新しい価値を創造していく力が必要です。こうした力を育む基盤として、子供たちが、幼少期から身近な人と親しみ関わりを深めたり、継承されてきた我が国や地域の伝統・文化を体験したりする中で自己肯定感を高め、これからの未来社会における我が国の在り方や自分自身の役割について、高い志をもたなければなりません。そして、思考力・判断力・表現力等を駆使して社会と関わることでこれまで培ってきた知識や技能を更に確かなものにするとともに、多様な人々と協働しながら様々な課題にチャレンジし、可能性を最大化していくことが必要です。これらの取組は、自己・人・自然・社会・国を愛する心を育てること、即ち本大会の理念である「美しい日本人の心を育てる」ことにつながると考えます。

そこで、初等中等教育段階では、子供たちに日本人としてのアイデンティティを育むと同時に、自身のアイデンティティに目を向けることができるようにすることが大切です。そのためには、我が国や郷土の伝統・文化を理解し、自己形成に関わった地域社会に誇りをもって、それらを発信、継承する能力が必要です。併せて、子供たちが課題に積極的に向き合い、様々な情報を取捨選択し、それらを再構成して新たな価値につなげていくためには、これまでの教育実践の蓄積に基づいた上で、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善が必要です。また、人々との対話、協働のためには、「特別の教科 道徳」を要としながら、多様な価値観の存在に気づき、内省しながら物事の本質を考える力や何事にも誠実に向き合う意志、豊かな情操等を養うことが重要です。一方、子供たちを取り巻く環境が複雑化・困難化する中で、子供たちに食・健康等に関する学習を通して、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力を養うことが重要です。また、誰もがその個性や能力を生かして社会参画できる共生社会を実現するために、全ての子供たちの力を引き出すとともに、一人も置き去りにしない教育の推進と特別支援教育の充実が不可欠です。これらの教育実践を持続可能なものとしていくためには、学校指導・運営体制の更なる充実を図ることが必要です。学校マネジメントには、学校における働き方改革を達成するとともに、学校教育を通じて社会を創るという目標を学校と社会が共有することや、チーム学校が有効に機能するために校内体制を整備すること等、学校と社会とが連携・協働する体制を更に充実させることが求められています。これまで述べた教育に直接携わる私たち教職員は、教育専門職としての使命と誇り、子供たちへの限りない愛情を胸に、自らの職責を深く認識し、専門性を高めるとともに人間性を磨くために、常に研鑽に励む姿勢を示さなければなりません。

本研究大会では、「美しい日本人の心を育てる」という全日本教職員連盟の基本理念の下に、大会主題を「新しい価値を創造する力を育む教育実践」とし、本主題に迫るための手立てとして、「自らの考えを広げ深める子供の育成を通して」という副主題を設定しました。各分科会での実践発表と研究協議、助言者による指導等を通して、参加者一人一人がそれぞれの立場で研究を深め、学校現場で生かすようにするとともに、複数年度にわたって研究を積み上げていきます。

#### 4 大会の基本的構想

- 教職員団体としての特色を生かす教研大会とする。
- 教育専門職としての研修を深める教研大会とする。
- 教育実践に役立つ教研大会とする。
- 提言のための課題集約の場となる教研大会とする。
- 組織への所属感や会員相互の連帯感を高める教研大会とする。
- 組織の強化や拡大の手立てとなる教研大会とする。

#### 5 分科会設置の方針

- 時宜を得た話題と社会の要請を踏まえた分科会とする。
- 組織構成・校種・職種等、会員の立場の違いと共通性を生かす分科会とする。
- 正しい教育に取り組む仲間としての意識の高揚を図る分科会とする。
- 研究発表やフォーラム的要素を加味した分科会とする。
- 異なる2つの分科会に参加できることとし、一人一人が幅広い視点で研究を深められるようにする。

#### 6 参加者数（予定）

約 700 名 （うち県外参加者数 約 300 名） ※2日間の延べ数

#### 7 大会期日

令和5年8月5日(土)～8月6日(日)

#### 8 大会会場

【分科会・助言者ゼミナール・全体会・記念講演】

**シーガイア コンベンションセンター**

〒880-8545 宮崎県宮崎市山崎町浜山 TEL 0985-21-1062

【宿泊場所】

宮崎市内のホテル5カ所（予定）

#### 9 設置分科会（案）

※助言者は、令和4年度

分科会名及びテーマ		提案テーマ及び提案者		助言者
第1分科会	学習指導A 我が国と郷土の歴史や伝統・文化への理解を深める学習指導	A		麗澤大学大学院 特任教授 高橋 史朗
		B		
第2分科会	学習指導B 学びの連続の中で確かな資質・能力を育む学習指導	A		千葉敬愛短期大学 学長 明石 要一
		B		
第3分科会	道德教育 道德科を要とする豊かな道德性を育む心の教育	A		武庫川女子大学 大学院教授 押谷 由夫
		B		

第4分科会	健康教育 「食育」「保健」「体育」を通じた生活習慣の改善を図る教育	A		東京栄養食糧専門学校 校長 <b>渡邊 智子</b>
		B		
第5分科会	学校マネジメント 学校における働き方改革の達成と「社会に開かれた教育課程」の実現	A		千葉大学 名誉教授 <b>天笠 茂</b>
		B		
第6分科会	特別支援教育 個に応じ、能力を伸ばす特別支援教育	A		桃山学院教育大学 前教授 <b>石塚 謙二</b>
		B		

## 10 大会日程概要 (案)

1日目 8月5日(土) 開会行事、分科会A・B、助言者ゼミナール

12:30 13:20 13:25 14:20 14:35 15:30 15:50 16:50

受付	開会 行事	分科会A (6分科会)	休息 移動	分科会B (6分科会)	休息 移動	助言者ゼミナール (6会場)
----	----------	----------------	----------	----------------	----------	-------------------

2日目 8月6日(日) 全体会、記念講演、閉会行事

8:30 9:00 9:45 10:00 11:30 11:40 12:00

受付	全体会 開会行事	休息	記念講演 (一般参加可)	休息	閉会 行事
----	-------------	----	-----------------	----	----------

記念講演

演題 「AI と脳の未来」

講師 池谷裕二氏

東京大学薬学部教授

## 11 記念講演講師

講師：池谷 裕二 氏

略歴： 1970年生まれ、東京大学薬学部卒、薬学博士(98年)。東京大学薬学部にて、助手、講師、准教授を経て、2014年に教授に就任。専門分野は、神経生理学で、脳の健康について研究している。また、2018年よりERATO脳AI融合プロジェクトの代表を務め、AIチップの脳移植によって、新たな知能の開拓を目指している。著書に、「海馬」(新潮文庫)、「記憶力を強くする」(講談社)、「進化しすぎた脳」(講談社)、「ココロの盲点 完全版」(講談社)等。TBSテレビ土曜日夜の「新・情報7DAYS ニュースキャスター」にもコメンテーターとして出演中。

★上記プロフィール、及び、右の写真は、まだ、公開の同意は得ておりませんので、取扱にご注意願います。



演題：「AI と脳の未来」